



瑞山会会報

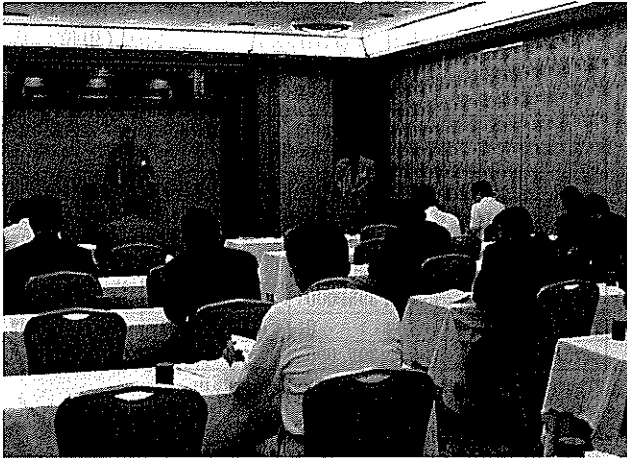
No.38

編集発行
名古屋市立大学
経済学部同窓会
瑞山会編集部

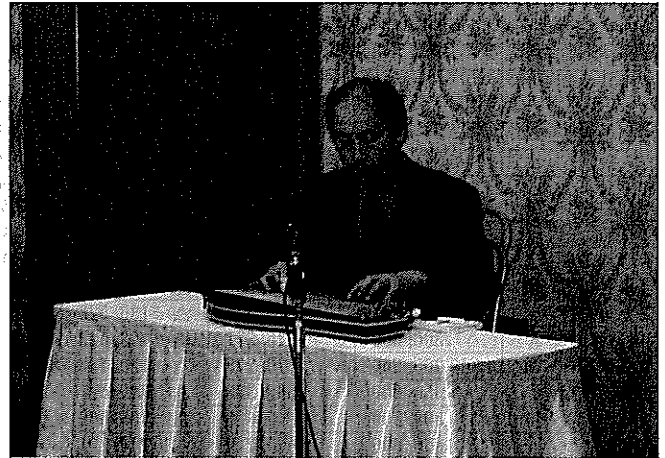
<http://www.asahi-net.or.jp/~IW3K-KJM/zuizan.html>

平成14年12月10日発行

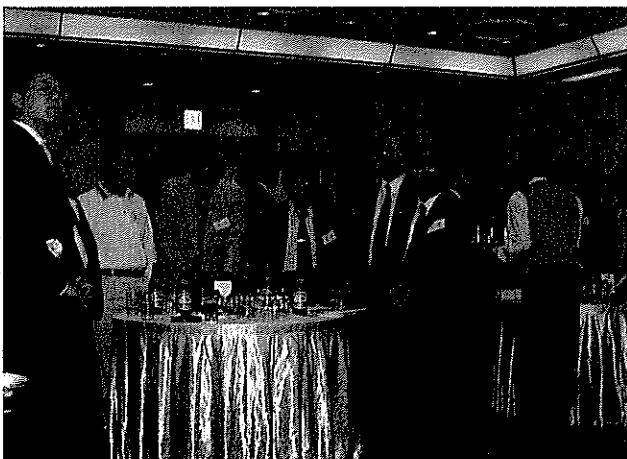
平成14年度瑞山会通常総会開催される



総会議場の様子



ギターを演奏中の河野氏



さる9月28日(土)午後4時から、名古屋市中村区名鉄グランドホテルにて平成14年度通常総会が開催されました。総会では開会の挨拶の後、全員で物故者黙とうを行い、続いて事業報告および新年度事業計画、平成13年度決算および平成14年度予算案の報告が前田会長よりなされました。松原監事による監査報告がなされた後、質疑応答を経て審議事項は承認されました。引き続き、河野直人氏によるギター演奏会が約一時間にわたって行われ、軽やかな音色に参加者全員が魅入られた様子でした。最後に懇親会が行われ午後7時過ぎ閉会しました。

(決算報告等は2ページをご参照ください。)

市民公開講座に瑞山会OBが講師として登壇！

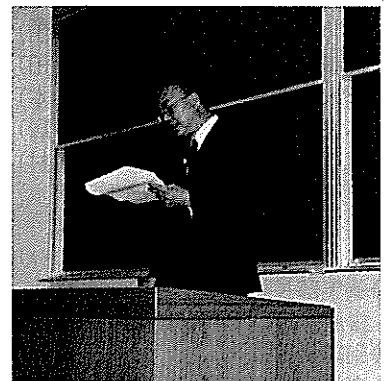
都島忠比古 3期生 東海東京証券執行役員

さる11月16日に開催された恒例の市民公開講座(経済学部は「混迷する経済の行方」をテーマに四講座を開講)の一講座を担当するよう國村先生よりご指示を賜わり、在学中の不勉強を反省しながら懐かしの101教室の教壇に立たせて頂いた。

私のテーマは「株式公開と企業の将来」。以下はその顛末。

受講生は220名。見事に老々男女が勢揃いされ、1400兆円といわれる個人金融資産の80%をこの世代の人々が握っていることを思うと身震いする思いであった。講演内容は大きく三つに分け、次のような概要である。

(3ページへ続く)



「瑞山会ホームページ」に関するアンケート(返信葉書に質問事項があります)にご協力ください

●平成13年度決算報告

第24期 貸借対照表

(平成14年3月31日現在) (単位 円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金・現金	7,232,847	未払費用	21,420
中国ファンド	5,977,214		
貸付信託	6,560,000	運営基金積立金	21,739,070
金銭信託	1,990,429	(うち当期剰余金)	(1,613,502)
合計	21,760,490	合計	21,760,490

第24期 収支計算書

(自平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入 (新入会費)	4,180,000	4,180,000	0
各部預金利息	5,000	1,646	△ 3,354
運営基金利息	50,000	20,135	△ 29,865
名簿売上	0	72,000	72,000
補助金収入	0	0	0
収入計	4,235,000	4,273,781	38,781

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	5,376	△ 44,624
会報発行費	1,500,000	1,425,403	△ 74,597
総会費	500,000	313,475	△ 186,525
事務費	300,000	276,377	△ 23,623
通信費	200,000	79,275	△ 120,725
事業運営費	950,000	560,373	△ 389,627
予備費	305,000	0	△ 305,000
支出計	3,805,000	2,660,279	△ 1,144,721
当期剰余金	0	1,613,502	1,613,502
合計	3,805,000	4,273,781	468,781

●平成14年度予算案

第25期 収支計算書

(自平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入	4,340,000	4,180,000	160,000
(新入会費)	5,000	1,646	3,354
各部預金利息	50,000	20,135	29,865
運営基金利息	0	72,000	△ 72,000
名簿売上	0	0	0
補助金収入	4,395,000	4,273,781	121,219

(注) 新入会費・予算額は平成14年4月17日入金確認分

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	5,376	△ 44,624
会報発行費	1,500,000	1,425,403	△ 74,597
総会費	500,000	313,475	△ 186,525
事務費	300,000	276,377	△ 23,623
通信費	200,000	79,275	△ 120,725
事業運営費	950,000	560,373	△ 389,627
予備費	895,000	0	△ 895,000
支出計	4,395,000	2,660,279	△ 1,734,721
当期剰余金	0	1,613,502	1,613,502
合計	4,395,000	4,273,781	△ 121,219

(注1)
(注2)
(注3)
(注4)

(注1) 新卒業生に対する名簿追録発行費用
(注2) 会報2回発行費用
(注3) 市大広報発送費用を含む
(注4) 新支部補助金、OB表彰制度 等

2002年度役員名簿

理事

- 会長 前田 勝昭 1期生(岡崎)
- 副会長 多和田 眞 4期生(岡崎)
佐藤 克己 8期生(岡崎)
服部 篤典 18期生(安藤)
- 庶務部長 伊藤 孝 6期生(山本)
- 副庶務部長 渡辺 尚泰 3期生(柴田)
- 庶務部 浅井 和良 1期生(静岡)
近藤 常夫 1期生(平田)
八木 得三 5期生(山本)
小笠原 幸生 6期生(中居)
荒深 美和子 9期生(木村)
倉地 弘美 14期生(松永)
木村 剛 17期生(辻)
吉田 和男 20期生(國村)
- 編集部長 柳原 茂 1期生(松永)
- 副編集部長 中村 英利 20期生(西田)

●編集部

- 伊藤 幸雄 5期生(妙見)
- 鈴木 正彦 7期生(芝原)
- 田中 喜夫 7期生(岡崎)
- 寺沢 賢治 11期生(牛嶋)
- 水野 誠 13期生(宮川)
- 松川 倫典 16期生(塩見)
- 湯浅 伸庸 18期生(安藤)
- 鈴木 正 19期生(星野)
- 石川 勇治 21期生(上村)
- 柴田 光晴 22期生(神山)
- 家田 嘉人 23期生(星野)
- 佐藤 哲也 24期生(宮川)
- 高山 浩之 26期生(國村)
- 西 理恵 26期生(國村)
- 清水 綾子 30期生(多和田)
- 柚田 明子 30期生(安藤)
- 奥村 光輝 31期生(多和田)
- 西脇 桂 33期生(安藤)
- 時國 均 33期生(森田)
- 松尾 裕次 34期生(森田)

●事業部長

- 逸見 和弘 1期生(松永)

●副事業部長

- 杉浦 晴義 5期生(松永)
- 事業部 都島 忠比古 3期生(山本)
浅岡 邦康 3期生(傍島)
木村 新作 5期生(岩橋)
岡田 美津雄 10期生(中居)
村岡 範久 15期生(松井)
畔柳 一 19期生(星野)
石川 常彦 23期生(國村)

●名簿部長

- 中村 正治 5期生(木村)

●副名簿部長

- 児島 完二 22期生(妙見)
- 橋本 光生 18期生(醍醐)

●会計部長

- 坂野 修 2期生(山本)

●副会計部長

- 児島 和世 22期生(國村)

●監事

- 栗野 泰次 1期生(大山)
- 松原 隆二 4期生(中居)

「市民公開講座」表紙ページより続き

- (1) 我が国証券市場の現状と問題点
 いわゆるバブル崩壊後の市場の推移と新規公開会社の状況を見るとともに、企業の資金調達手段と個人金融資産の内容を日米比較することを通じて我が国経済の資金循環の問題点の把握に勤める。
- (2) 証券市場の改革と上場審査基準
 昨年8月に公表された、金融庁による「証券市場の改革促進プログラム」を俯瞰するとともに新しい成長企業群への円滑な資金供給の推進を目的とした証券市場の上場ルールの整備を見ることにより、個別企業の上場意欲喚起のための施策を探る。
- (3) 株式公開と個別の問題点
 個別企業の株式公開の実態を見ることから問題点の確認と現状打開の施策を考える。

要するに銀行の不良債券問題から動脈硬化を起している日本経済の為に、イキの良い企業とチャレンジするリスクマネーの育成が不可欠であると言いたい訳なのであるが、講演後にお話をさせていただいた数人からは、「私は今までこれだけ損をした。」類の話ばかりで「道はるか遠し」の感であった。

山の畑読書庵

毎回、皆さんへお勧めの本をご紹介するコラムを設けました。経済書は勿論、多様な分野を取り上げますので楽しみに。

『ノーベル賞経済学の大罪』

著者ディアドラ・N・マクロスキー (赤羽隆夫訳)

筑摩書房2002年10月

定価 (1800円+税) ISBN:4480863419

題からしてショッキングな話題をこの著者は提供している。題の割には内容がない本はよくあるが、この本は中身もショッキングである。内容は、歴代のノーベル経済学受賞者をなぎ倒さんばかりで、その批判の対象となるのは、経済学の方針ではよく知られている「ティンバーゲン」「サムエルソン」「クライン」から始める著明な経済学者達である。これらの経済学者は、現在の経済学の流れを創生した学者であるが、彼らの著作の内容の批判ではなく「経済学に対する考え方」の方向付けが間違っていたというものである。具体的には、計量経済学の「統計的有意性」に関する考え方、数理経済学(数理統計学も含む)に関する膨大だが、しかし数学の演習解答のような論文、実際の現実とは離れた空虚な「黒板経済学」などどれも納得できる批判となっている。しかも著者自身は、批判の対象となる経済学者(「お砂遊びの子供たち」)に実際に接しているのだから、さらにこれらの議論が説得的なものである。彼女はこれに非難している、実は過去に数々の論文を書いていた学者なのである。このように現在の経済学が混沌としていることを提起した意味は大きい。しかし、もしマルクス経済学者を除いては、有名な日本の経済学者に内容についての訪ねた場合(特に、数量的経済学者にとって)耳が痛い話の内容であるので、まったく無視するが、そういう考え方もあるだろうとして、自らの非を認めないかもしれない。そこに経済学の「憂鬱」な学問(Decimal Science)として根源がある。彼女はこう非難しているものの現代の経済学がよくなるのを願って書いているのであって、決して現代経済学を破滅させたく思っているのでは決してない(その逆で「愛している。」と言っている)ことが、著者の最後のように「実用知」の上立った経済学を再構築しなければならない時期にきていると結論付けていることからわかる。このように、この著者は、近頃稀に見る現代経済学の小気味よい批判書であるので、名市大のような現代経済学の先端を行っているような経済学部を卒業したOBには、著者が50代で男から女へ性転換した数奇な人生経路をたどっていることも手伝って、是非一読の価値があると思う。

(大阪経済大学教授 伊藤 幸雄 5期 妙見ゼミ)

瑞穂会支部活動報告

平成14年度瑞名会総会開催

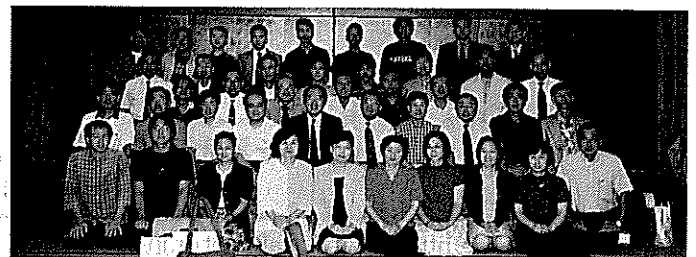


平成14年10月23日(水)午後6時30分より、市役所東庁舎地下食堂において、平成14年度瑞名会(瑞山会名古屋市役所支部)総会及び懇親会が開催され、48名の同窓生が集まりました。総会は、事務局である財政局の勝間実氏の司会により進められ、瑞名会会長である緑政土木局の河合浩二氏による開会挨拶で幕が開けられました。次に、出席者のうち、今年度新会員となった経済学部卒業の7名と人文社会学部卒業の1名の自己紹介が行われ、先輩会員の盛大な拍手によって温かく迎えられました。引き続き、健康福祉局の栗野泰次氏による乾杯の音頭で懇親会が催されました。先輩・後輩の絆を越えて、和やかな雰囲気の中で交流が続き、恒例の「ビンゴゲーム」では、ビンゴが出る度に会場が歓喜の声に包まれ、場が盛り上がり、いつのまにか時は過ぎ、来年度の幹事局である市民経済局を代表して黒宮孝二氏の一本締めにより、会の幕が閉じられました。

瑞山会自動車部支部総会開催される

去る8月24日(土)、創部40周年を迎えた自動車部OB会が名古屋市内で開催されました。OB総数194名のうち大半を占める(147名)経済学部卒業生も第5期生から第34期生及び第36期生に予定される現役4年生2名を含む30名が参加しました。卒業後20数年振りにお互いの仲間同士の思いで話やお世話になった先輩にお礼を言う光景などで座は多めに盛り上がり、予定の2時間をオーバーする3時間があっという間に過ぎました。中には経済学部卒業者らしく、仕事の情報交換をする場面も見られました。久しぶりに会い昔話に酔いしれた訳ですが、現役である後輩にとっては刺激を受けることが多く、新たな気持ちでクラブ活動を盛り上げようという決意を持つ機会となった様子です。昨年どのクラブも活動が停滞気味と言われる中で、現役の学生が発奮する機会になったことにOB会の良さを認識した次第です。来年度以降の継続開催や、東京など遠隔地での開催も確認しつつ閉会しました。最後に、瑞山会の援助に対して心より感謝を申し上げ、報告といたします。

(自動車部OB会 6期生 村井 清)



【会員からのメッセージ】

会報に同封されている返信葉書で、毎回会員の皆さんからさまざまな声が寄せられています。その一部をご紹介します。

- このNGOの世界に入り7年目になりました。海外出張が多く多忙をきわめています。充実した人生を送っています。とにかく健康な体をいただいたことに、両親には本当に感謝です。(25期 岸ゼミ 高橋経子)
- 派遣業界で仕事をしており、担当エリアは北九州及びその近郊です。毎日忙しくしています。九州に来て11年になりこちらで永住するつもりです。こちらに在住の方がいればお会いしたいと思います。(2期 静田ゼミ 田辺幹景)
- 東京の大学に通う長男にがんばって仕送りをしています。現在世の中、不景気とはいえ、サラリーマンの中では恵まれた職場だとつくづく実感しています。皆さん、がんばってやりましょう!!(3期 牛島ゼミ 藤井敬)
- 瑞山会関東支部の設立に大いに期待します。関東在住が約470名いるとは強い味方ですね。
(6期 加藤ゼミ 近藤道夫)
- 他学部等の情報も教えていただきたいです。
(5期 宮川ゼミ 西田豊一)
- 岡崎市役所瑞山会支部(未公認?)に待望の新入会員(し

かも初の女性)が今年4月に加わりました。本当に喜ばしいことです。(13期 牛島ゼミ 萩野孝史)

●瑞山会組織も毎年たくましく発展され、本当に嬉しく思っております。さて、今の日本経済、世界経済を解く鍵を名市大の優秀なる教授陣の方々がお持ちならば、ぜひこの会報にて発表頂きたいと思う次第です。我々55年卒の経済講義はケインズでした。故松永先生曰く、「皆がお金を使えば、金は循環しまた皆が豊かになる。」と、しかしそれからわずか22年しか経っていない今、我々が学んだ知識ではどうにも理解できない、説明できない事象が多々起こっています。この現実世界の分析から、今後どのように推移し、日本企業は何を持って世界の人々に経済的にアピールしていくべきなのか、ぜひ「名市大卒業生講座」を思い出のキャンパスで実現して欲しいですね。もはや親睦しましよの領域から我々の意識は飛び抜けています。おそらく「なぜなのか」「どうすればいいのか」この答えを卒業生は待ち望んでいます。

(13期 松永ゼミ 中森敬二)

< 事業部便り >

平成14年9月1日バーベキュー大会が名市大キャンパス内にて行われました。昨年同様医学部、薬学部、人文社会学部のOBの皆様にも参加いただきました。汗ばむほどの好天に恵まれうなぎの蒲焼きも大人気でスタッフは飲み物などの追加に走りまわりました。バーベキューの後もある人たちは銀杏の収穫やらテニスやらと楽しんでいました。10月19日には第40回OBゴルフコンペが富士エクセレント倶楽部伊勢大鷲ゴルフ場で行われ2期生の伊藤博文氏が優勝しました。当大会は第40回となる取切り戦でしたが、やはり同氏が優勝カップを手中に納めました。2位は薬学部から参加の安達幸夫氏(昭和58年卒)、3位は今回幹事の林嘉明氏(3期生)でした。次回開催は4月12日(土)愛知カンツリー倶楽部の予定です。

今回の行事は4月6日の「山崎川花見散策と茶会」です。開花が今年同様とすれば桜には少し遅いかもしれませんが、陽気としては十分ですのでご家族でお出かけください。5月3日には第14回公式テニスの会を山の畑のテニスコートで開催する予定です。

事業部長 逸見和弘

(TEL052-914-6221 E-Mail hem3@mvj.biglobe.ne.jp)

瑞山会ホームページ便り

会員の皆さん、今年はどうな1年でしたか。当同窓会ホームページは徐々にコンテンツが増え、アクセス数も順調に伸びているようです。そして来年度からはいよいよネットの特性を生かした「双方向」コミュニケーションを実行するため、「独自ドメイン」の取得と「専用サーバー」の設定に向け動き始めます。ドメイン名を「.com」等、判りやすい表記へ変更し、また会員専用のパスワード制限を設けたサイトにすることで安心して利用していただく計画です。理事会での議事、報告や状況の推移などは、ホームページでも随時閲覧できるようにします。

今回返信用葉書に簡単なアンケートを用意しました。皆さんからのご意見を是非お聞かせください。

(瑞山会ホームページ・ウェブマスター

服部篤典 : atstique@rr.ij4u.or.jp

18期 安藤ゼミ)

瑞山会年間行事案内 (平成15年)

- 4月6日(日) 山崎川花見と茶会
- 12日(土) OBゴルフコンペ(愛知カンツリー倶楽部)
- 5月3日(祝日) 硬式テニス大会(山の畑キャンパスにて)
- 9月7日(日) 野外バーベキューの集い
- 10月中旬 OBゴルフコンペ

その他

- 8月 通常総会(兼代議員会)
- 年3~4回 理事会
- 年2回(7月・12月) 瑞山会報発行

[行事の日程等は変更することがありますのでその都度事業部にご確認ください]

◆瑞山会ホームページでも変更事項も含め最新情報をお伝えしています。